

4. 主要建設資材の需要動向

(1) セメント

記事提供：(一社)セメント協会

北陸3県における令和4年度第3四半期のセメント出荷状況は前年同期比▲12.5%、3四半期連続のマイナスとなった。

新潟県

前年同期比▲15.0%となった。官需減少の影響が大きい。朝日温海道路関係は継続中だが、磐越道関係は発注されているが工事が遅れている。民需は主力の新潟地区で大型案件がサーパスタワー以外に物件が無く、端境期となっている。長岡地区でも駅前再開発がほぼ終了、長岡北 IC 流通団地も2期工事がピークアウトした。主需要部門別は生コンクリート向け同▲11.4%、コンクリート製品向け同▲23.6%、その他土木向け同▲7.4%。

富山県

前年同期比▲2.5%となった。黒部市民交流センター、呉羽駅北開発、ダイト製剤工場、民間マンションなどのほか、官公需向けブロックが出ているが全体的に低調。主需要部門別は生コンクリート向け同▲5.7%、コンクリート製品向け同▲0.4%、その他土木向け同+23.0%。

石川県

前年同期比▲18.4%となった。金沢地区で海側環状線、金沢市サッカー場などの物件が動いているものの、郊外案件が少なく減少が続いている。主需要部門別は生コンクリート向け同▲17.6%、コンクリート製品向け同▲7.1%、その他土木向け同▲30.4%。

セメント出荷量 (令和4年度第3四半期)

(単位:t、%)

	令和3年度	令和3年度	令和4年度		
		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
新潟県	618,821 ▲ 1.5	114,879 1.3	147,589 ▲ 5.5	156,958 ▲ 10.2	147,093 ▲ 15.0
富山県	317,632 2.4	61,942 ▲ 2.4	68,137 ▲ 6.6	83,221 ▲ 7.7	90,251 ▲ 2.5
石川県	314,519 ▲ 3.7	69,020 9.7	69,278 ▲ 15.0	70,253 ▲ 12.3	68,441 ▲ 18.4
計	1,250,972 ▲ 1.1	245,841 2.5	285,004 ▲ 8.3	310,432 ▲ 10.0	305,785 ▲ 12.5

(注) 上段は実績、下段は前年同期比